

## 平素ワクチンのされる種類と効果、必要性、強制か任意か

## 1 平素ワクチンのされる種類と効果、必要性

ワクチンの種類	効果、必要性
①ロタウイルス感染症	初感染（急性の胃腸炎）が最も重症である乳児期における感染の予防
②B 型肝炎	Hbs ウイルスの持続感染の防止、将来発生する可能性のある慢性肝炎、肝硬変、肝がんの防止
③小児の肺炎球菌感染症	上気道感染後、ときに化膿性髄膜炎、敗血症、肺炎などの重篤な全身感染症等の防止
④ジフテリア	ジフテリア菌の感染で起こる咽頭ジフテリアや毒素による心筋炎、神経麻痺の防止
⑤百日せき	乳児期の連続性の激しい咳による無呼吸発作、けいれん、チアノーゼや、脳症による後遺症の防止
⑥破傷風	外傷、火傷および挫創部から侵入した破傷風菌による中枢神経への浸潤の防止
⑦急性灰白髄炎（ポリオ）	炎症に伴う上肢または下肢の弛緩性麻痺の防止
⑧Hib 感染症	乳幼児期の化膿性髄膜炎、敗血症、咽頭蓋炎などの重篤な全身感染症等の防止
⑨結核	結核菌による感染の肺結核や髄膜炎、胸膜炎などの防止
⑩麻しん	脳炎などの合併症の防止
⑪風しん	妊娠初期の罹患により高い確率で発症する先天性風しん症候群（難聴、先天性心疾患、白内障など）の防止
⑫水痘	免疫不全患者の重症化リスクの軽減、妊娠期での胎児への先天性水痘症候群の防止
⑬日本脳炎	脳炎による後遺症や死亡リスクの軽減

ワクチンの種類	効果、必要性
⑭ヒトパピローマウイルス感染症	子宮頸がんの発症予防及び死亡リスクの軽減
⑮RSウイルス感染症	新生児・乳児期における下気道炎の重症化予防、合併症の防止
⑯季節性インフルエンザ	インフルエンザの発病予防や重症化予防
⑰高齢者の肺炎球菌感染症	肺炎球菌による肺炎の重症化と死亡リスクの軽減
⑱新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス感染症の発症予防と重症化予防
⑲帯状疱疹	帯状疱疹の発症予防、皮膚症状治癒後の帯状疱疹後神経痛の予防
⑳おたふくかぜ	無菌性髄膜炎、難聴などの合併症の防止

①～⑮定期接種 A 類、⑯～⑲定期接種 B 類、⑳任意接種

## 2 強制か任意か

いずれの予防接種も任意であり、本人の意思により接種を決定する。

なお、A 類疾病の対象者は、「接種を受けるように努めなくてはならない」とされているが、あくまで努力義務であり、接種を強制するものではない。